

ビジョナリーシティ会議 活動記録

文責：ビジョナリーシティ会議 伊藤哲

◆3月4日 第1回ビジョナリーシティ会議@桂川町住民センター

◆4月22日 第2回ビジョナリーシティ会議@立岩交流センター

◆5月20日 第3回ビジョナリーシティ会議@嘉麻市役所

◆6月10日 第4回ビジョナリーシティ会議@嘉麻市役所

◆3月27日に麻生本邸に訪問

○マクロトレンド（避けられない時代の流れ）

・地域や国には避けられない社会課題がたくさんある。そういったマクロトレンドをしっかりと把握した上で、様々な問題や課題に着手する必要がある。

①人口減少問題

②国が貧している問題：1990年 国内GDP13.4% → 2021年 国内GDP5.1%

○この地域の強み

①「愛郷心」：この地域には愛郷心を持つ方がたくさん居て、特に青年会議所のように若い世代でまちづくりやひとづくりの運動を続ける方々が多い。

②ローカルアドバンテージ：産学官民の連携はローカルならではの。企業や行政、学校や政治などのカテゴリーの方が肩を並べてまちづくりの協議を行う事は、ローカルならではの強みとを感じる。

③コストオブリビング：都心に比べコストが30%オフ

④自然

⑤大学生比率が高い：人口12-13万人で学生比率3%は全国トップクラス（トップは京都）

⑥医療：当たり前を感じる24時間365日の病院のアクセサビリティ、都心ではたらい回し問題や、他ローカル地域では夜間対応や休日対応が難しい地域も少なくはない。

⑦伸び行く福岡市に隣接している：現在、全国でも人口増が見られる有数の都市が福岡市。伸び行くアジアにも隣接している。「伸び行くアジア、煮詰まる日本」。そんな福岡市と筑豊は隣接しているというメリットがあ

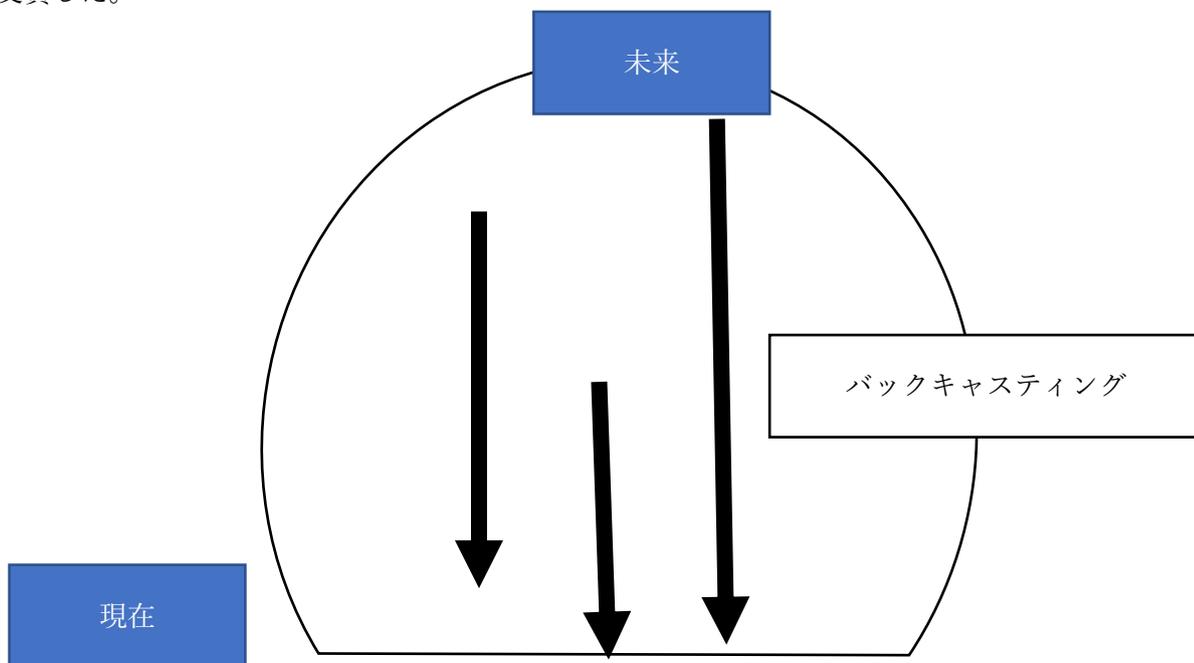
る。そしてコストは福岡市が 100 円、飯塚市が 60 円というコスト面のメリットもある。

○ 「not easy, not impossible」 簡単ではないが、不可能でもないストレッチゴールを設定すべき！

・ ビジョン策定において簡単ではないが不可能ではない、少しストレッチの効いたゴールを設定する事がおススメ。未来のビジョンを考えるためには「ロマン」が必要。

・ 非現実的なものではなく、夢やロマンであり、かつ到達可能な目標にする事。

・ 飯塚病院の例：1980 年に麻生様が代表に就任し、当時 1000 ベッドに対し 42 人しか医師がいない病院だった。「日本一のまごころ病院にする」というビジョンを掲げ、約 40 年経過した現在、1000 ベッドに対し 360 人の医師、また 2022 年デミング賞（トヨタ等大企業が実践している改善活動）を全国 8600 ある病院の中で初めて受賞した。

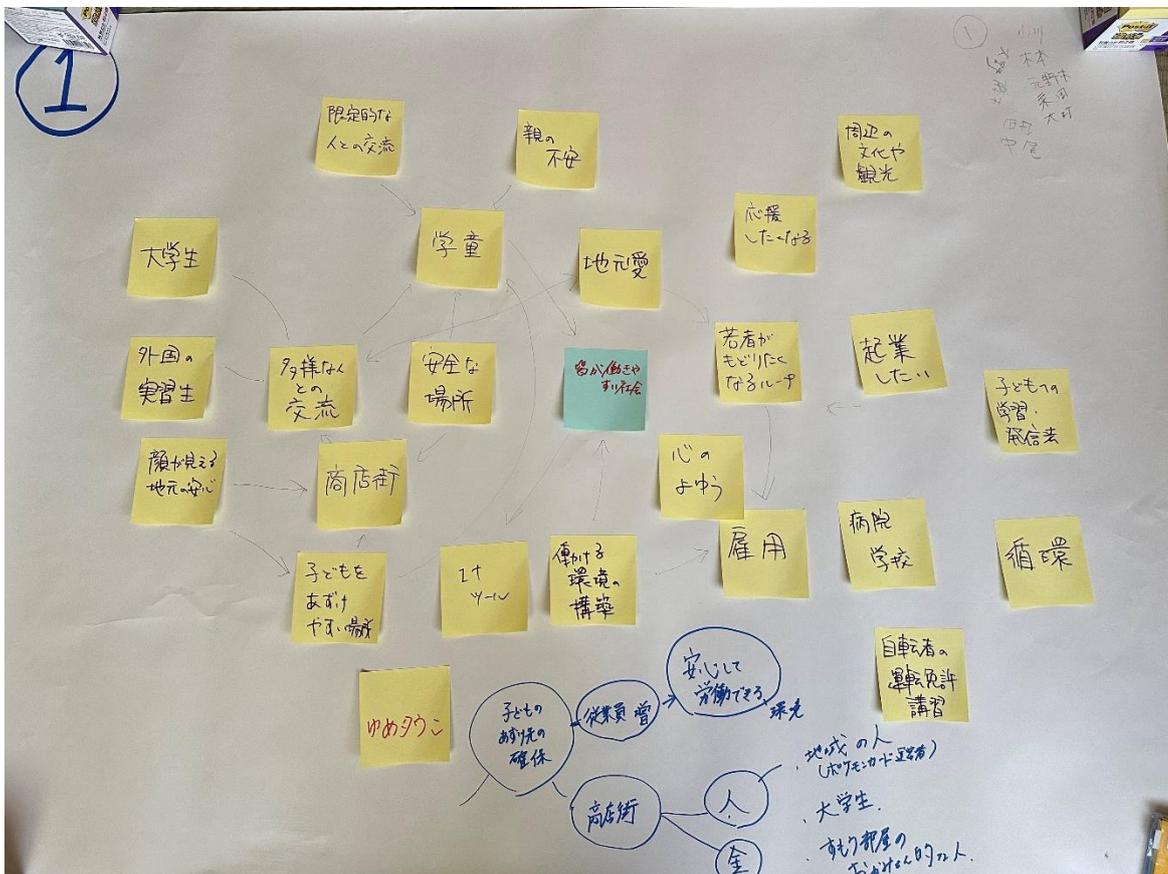


・ マクロトレンドの人口減は避けられないものの、「人口が減らないまちにしたい！」

・ NATO (No Action Talk Only) にならないよう、まずは行動を起こすこと！

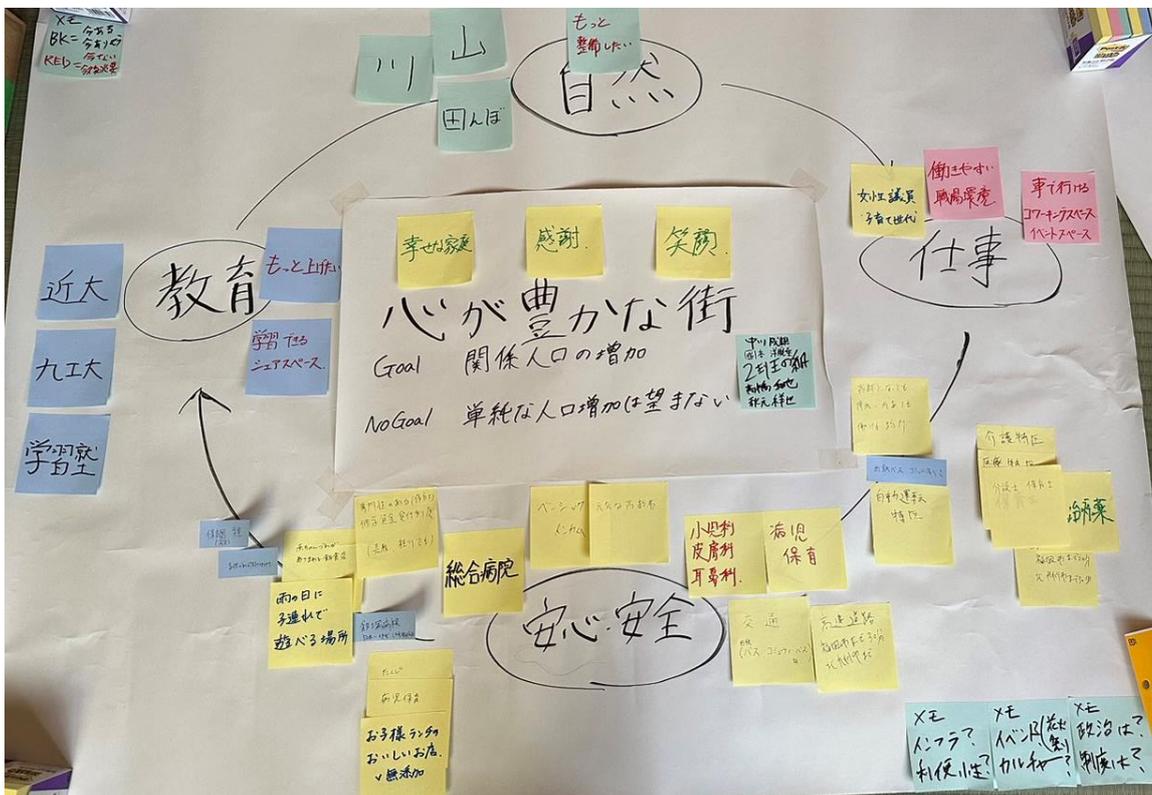
メンバー	藤木 栗田 レアケ 金子 小川				1班				
増やしたいもの									
飲食	飲食店	駐車場	ウーバーイーツの配達	若者の娯楽施設					
	雇用を促進できる企業		ジム	ママさん達のコミュニティの場					
若者	若者	子供	小中高アルバイト活用制度	子供のイベント	学生と地域の交流				
インフラ	高速道路	街灯	子供の遊び場						
行政	助成金	子育て窓口	投票率	市政への市民参画					
残したいもの									
文化	文化	田んぼ	ぼた山	自然	方言	神社	住民運動会	人とのつながり	お菓子などの食文化
施設	歴史的な建造物	商店街などのアーケード				古墳を含めた歴史文化施設			
減らしたいもの									
社会問題	空き家	犯罪	夜の騒音						
災害	火事								
自然	花粉	Co2							
生活	自動化・省力化できるのにやらないアナログシステム					FAX	穂波イオンへの人口集中		

- ・育メンを増やしたい。女性の社会進出を促すためにも、育メンを増やすこと。
- ・産学官民の連携や協議が出来る事が素晴らしい。
- ・ローカルアドバンテージ。都会：となりの方が病気になっても居なくなっても気づかない。田舎：隣の人が3日出てこなかったら心配する。



メンバー	初井 秋元 相本 高橋 國本 中川					2班		
増やしたいもの								
家庭	幸せな家庭	心が豊かな人	感謝	笑顔				
子供	雨の日に子連れで遊べる場所		お子様ランチの美味しいお店 (無添加)		子供	学習できる場所		
職業	専門職が地域で活躍できる場		企業	若い医師	個人事業主が活用できる場		教員	女性議員 (子育て世代)
社会資源	交通 (コミュニティバス・西鉄バス)		元気な高齢者		高速道路	電車	介護特区	医療特区 移住者 ベーシックインカム
場所	子供たちが集まれる場		買い物できるところ (スーパー 美術館)		宿泊温泉施設	図書館	自動運転特区	
残したいもの								
子供	保育園	学童	九工大・近大生					
場所	公園	医療機関 (クリニック)		飯塚病院	麻生本家	嘉穂劇場	子供連れ可能なお店	買い物できる店 人が集まれる場所
	公民館	コミュニティ・スイーツ						
減らしたいもの								
家庭	ひきこもり	去っていく人 (市民) 虐待		いじめ	ネグレクト			
子供	児童虐待	学力にあってない宿題		子供やに妊婦さんにやさしくない考えの子供がいる人が働きにくい環境				
社会資源	介護保険料	印鑑文化	フードロス	自殺率	感染症	無駄な手続き		
場所	空き家	使っていない田んぼ		休眠地				
職業	市町議会 格差							

・「感謝」：感謝に気づいていない人が多い。まずは小さな感謝に気づく事が大切。様々な恵みや今の環境に感謝できる気持ちを持つことが、何よりも根底にないといけない。物事には歴史や背景があり、その積み重ねの上に私たちが生活していることを忘れないこと。



メンバー	大熊 坂本 嶋田 吉田									3班	
増やしたいもの											
人財	健康な高齢者	子ども	観光客	移住者	若い人	女性リーダー					
	素晴らしい指導者	留学生	国際人材								
経済	お金	雇用	街への民間投資								
自然・環境	遊園地	綺麗な場所	季節のイベント	公園	みんなが楽しい場所	自然	文化施設	カフェ	ストリートミュージック		
インフラ	町中を歩く人々	にぎわい	自動車が通れる道	歩道	街灯						
残したいもの											
人財	人口	教育	若者	地域の伝統	大学	優秀な人材	山笠	自然			
文化	飯塚の文化	市民の活動力 (JCなど)		歴史	古い建物	お菓子	筑豊緑地		サニ・ベールとの交流		
インフラ	病院										
減らしたいもの											
社会問題	人口流出	犯罪	補助金依存	要介護高齢者	ポイ捨て	空き家	廃業	交通事故	渋滞	パチンコ屋	
	車	古い慣習	非効率	悪いイメージ	排他性	ネガティブな雰囲気					

- ・若い人、女性リーダー、国際人材、飯塚の移住者を増やすために重要なキーワード。
- ・中心市街地に資金を投じていた時代⇒これからは空き家投資などは免税にしてはどうか。



メンバー	大谷 前田 菅 中村 佐藤							4班		
増やしたいもの										
教育	寺小屋 (大学生の協力で低額の塾)			国際交流授業	ママスペース (子連れで話ができる本が読める)					
	主権者教育			アクティブラーニング						
遊び	マルシェ	体験型キャンプ場	講演	公園	合宿上	フェス	ライブハウス			
	自然豊かな場所を活かすキャンプ場			音楽イベント		自治体が連携したスポーツツーリズム (スポーツ施設の連携共同利用)				
	街づくりカフェ		お洒落カフェのエリア							
若者	子ども食堂		若者	子供						
企業	スタートアップ企業を応援できる場所			コワーキングスペース			ピッチコンテスト	ドローン基地		
	IT企業									
インフラ	障害者の遊べるプール			公共施設におけるユニバーサルデザインの徹底				博多に行く際のバイパスの車線		
メディア	ケーブルテレビ		コミュニティラジオ							
行政	市民の対話イベント		議員と市民の交流会		市政への市民参画					
特区	ドローン特区		スポーツ特区		IT特区					
残したいもの										
祭り	花火大会 (3)		山笠 (3)		ひいなまつり					
食文化	食文化	B級グルメ	シュガーロード		お菓子文化		飲食店			
	味噌焼き (2)		スイーツ							
文化	来訪者へのおもてなしの心			郷土愛	嘉穂劇場 (2)		歴史文化建造物	歴史的な街並み	おせっかい	方言
教育	大学 (2)		立岩小学校							
経済	多くの企業		商店街							
自然	遠賀川		丘	山	八木山	大将陣公園	河原	農業	勝森公園 (2)	
場所	筑豊緑地		茜キャンプ場		キャンプ場					
減らしたいもの										
社会問題	貧困	犯罪	DV	子供の貧困	差別 (2)	詰め込み教育	交通マナー違反	信号無視	駐車違反	
	いじめ	ヤングケアラー		引きこもり	私利私欲で動く政治家		女性軽視	女のくせに言わないで!		
	教育格差		不登校生徒	ネグレスト		人手不足	古い空き家			
インフラ	交通渋滞		交通事故	道路が凍ること		メガソーラー	パチンコ店		24時間営業のコンビニ	
	コインランドリー等の営業時間の短縮 (電力使用量削減・防犯)					青少年非行対策		窓口業務		
生活	ゴミ (2)		格差	産業廃棄物	災害					

・九工大の朝岡君：大学生が高校生に教える塾や自習室を實踐中。商店街で自習室を展開してみてもどうか。

福岡市内には存在し、現在新飯塚では Lig Academy さんが4月から塾を始める。

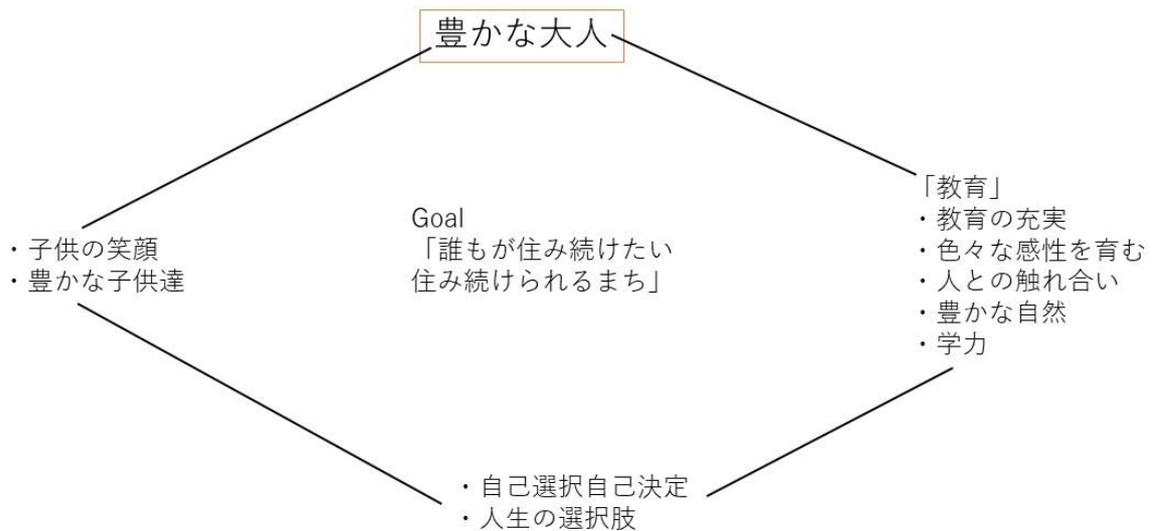
・九州工業大学ではIT系のベンチャー企業が研究開発を行っているが、学校が休日や夜間が空いていないため、自習するスペースや、宿泊して開発するような環境が整備されていない。

・不登校の学生、引きこもりの方でも通える自習室があると良いのでは。そこにカウンセリングの専門職を配置できていれば、不登校や引きこもりの方の支援が出来るのではないかな。

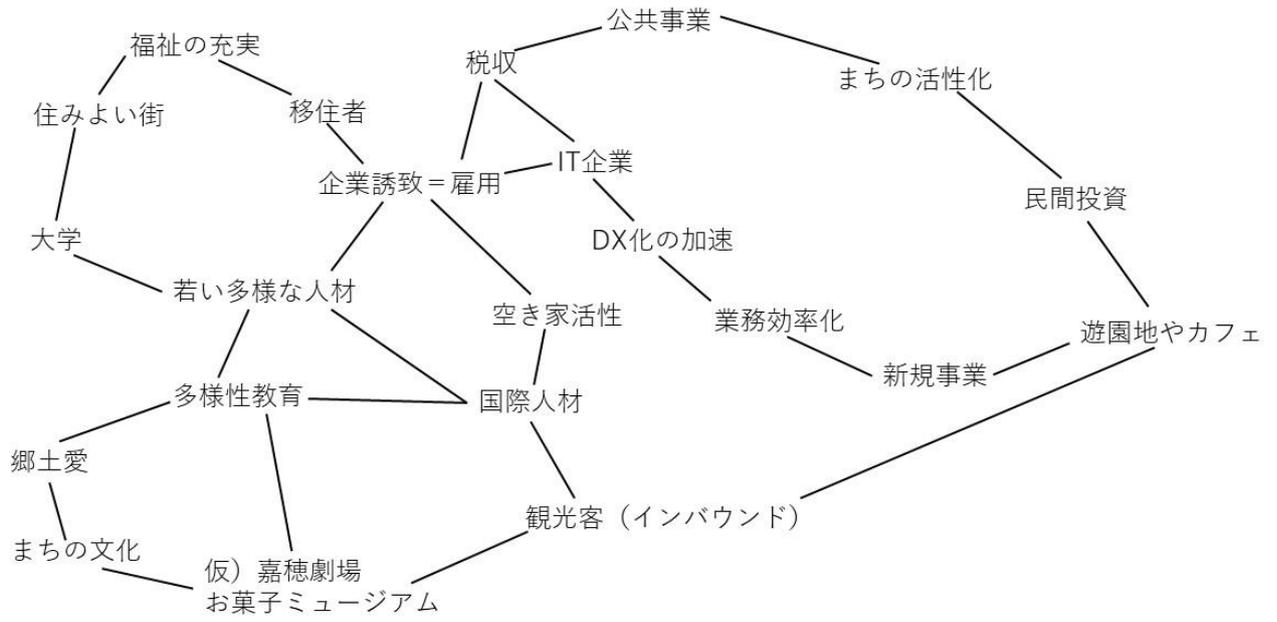
・たまやパチンコ店が相撲部屋の合宿所になるとの事 (岩見社長)。相撲部屋が活動していない期間に学生向けに開いてみてはどうか。

⇒Lig Academy 大谷様、麻生様、朝岡君の面談をスケジュール。

⇒飯塚商工会議所香月理事へ面談を行う。

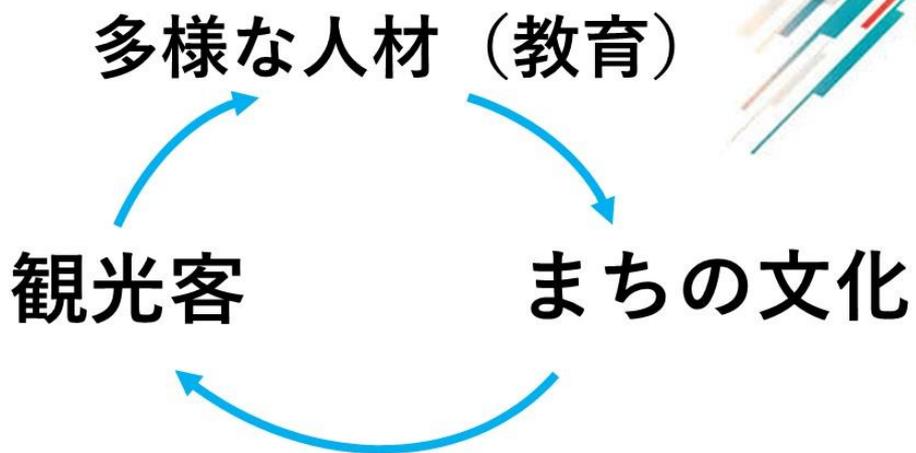


・最上位のゴールを「誰もが住みたい住み続けられるまち」と設定し、それを達成するため、まちの豊かな大人を増やす必要がある。この豊かな大人とは、表現が抽象的ではあるが、寛容であり、大人として子供達へ様々な経験を積ませてあげたり、多様な教育を学ばせてあげる事ができる。その結果、教育の充実が図れるのではないかと。この教育とは、単なる偏差値が高くなる教育ではなく、色々な感性を育てたり、人との触れ合いや豊かな自然を通じた教育を指す。もちろん学力を高める教育も必要。その結果、自己選択自己決定のできる子供達が増え、人生の選択肢を自分で選ぶ事が出来るようになる。そうすると、子供の笑顔が増え、豊かな子供達が増える。その子供達が大人になった時に、豊かな大人達がさらに増えていく。そういったループを考えています。

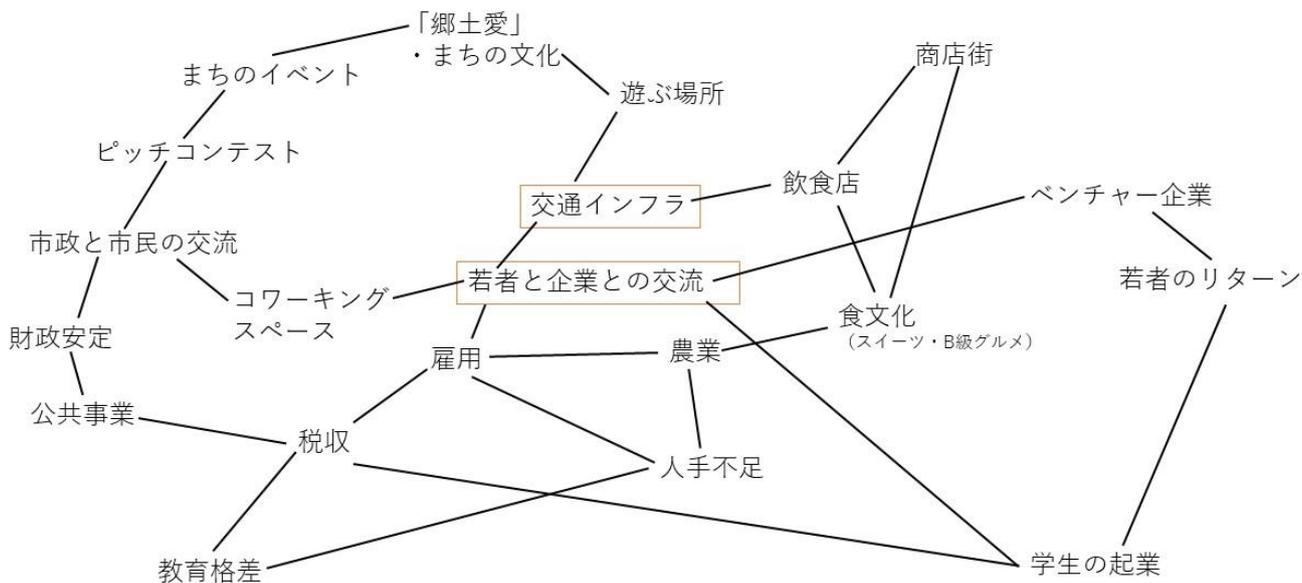


3 班

まちの良い循環を考える



・多様な人材や教育（IT、国際性、まちの文化）を活性化する事により、さらにまちの文化が増え、観光客が増加するというループを考えている。高校生から出た意見で、嘉穂劇場のお菓子ミュージアムも面白いのではないかと。まちの文化の発展は、多様性教育に繋がるし、観光客の増加にもつながるのではないかと。



59



4 班

まちの良い循環を考える

地域の魅力

地域の活気

若者流出

60

・地域の魅力の発信は若者の流出を減らし、地域の活気に繋がるのではないかと。この地域の魅力とは、交通インフラや若者と企業の交流会、ピッチコンテスト、コワーキングスペースなど。また「イートーク」と言われる昼飯マッチングアプリなども面白いのではないかと。若者から見て魅力的な地域であれば、若者の流出を防げるのではないかと。その結果、地域の活気も出るのではないかと。

第4回ビジョナリーシティ会議

1 班		
ビジョンの言語化	<p>子供が笑顔になるまち 地域で子供を育てるまち こどもの夢 (youme) ふくらむまち スマイリーママあふれるまち</p>	<p>・このまちに子供の笑顔があふれ、子供の夢をふくらませるようなまちづくりをするためにはどうすれば良いでしょうか。私たちは子育て世代が暮らしやすく、働きやすいまちになれば実現できると考えました。地域全体で子供達を育てることで、子供達の居場所ができ、結果として子育て世代が笑顔になり、子供達も笑顔になるのではと考えました。</p> <p>・また子育て世代の母親のことを考えると、子育てを安心して行えることは雇用に繋がり、女性の社会進出を促進することにも繋がると考えます。</p>
ビジョンの背景にあるループ図や繋がり、想い		
木本	<p>「久留米に勝つ福岡第三の都市」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で子供を育てる。助け合い、コミュニティ、商店街学童 ・魅力あるまち（情報の発信力、魅力を発信）、地域外から人が集まる、イメージを変える（筑豊には良いものがたくさんある） ・教育のまち、大学、子供、自己投資 ・暮らしやすいまち（働きやすい）、住む場所、病院⇒住みたいまち、住み続けたいまち 	
大村	<ul style="list-style-type: none"> ・まちのイメージを払拭して、子育てしやすい地域⇒小さなまちならではのでできること（人情が熱い） ・子育てしやすい子供のい場所があると、女性は安心して働ける。 ・社会の流れの変化で共働きとなり、夫婦の役割が変わっていった ・情報の発信力が必要（表面下で活動している人が多い、表に出てきて欲しい） ・まちで子供を育てる ・女性の笑顔（女性は自然と相手が幸せになるような笑顔を向けられる） ・異業種の話し合い（まちの問題を常に拾う） ・住んでいる人がまちを好きになる ・ゆめタウンフリースペース 	
栗田	<ul style="list-style-type: none"> ・コークスパワーみなぎるまち ・子供のスマイル ・夢 (youme) ・「チクホウビト スゴイ！」 ・他市と比較して素晴らしいところがたくさんある（人情、こども、横断歩道わたって頭を下げる、筑豊の子供は礼儀正しい） ・炭鉱の歴史⇒日本を変えた！⇒筑豊でとれた石炭が日本を発展させた！ ・情報発信力⇒チクホウのインスタグラマーを！！！！ 	
小川	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの悪いイメージを払拭し、この地域の魅力を発信する ・くらしやすい町をアピールする ・誰しもが働きやすい環境を整える ・子供の居場所をつくる ・移住してきた方が、この地域の魅力がインターネットですぐに分かるようにすると良い ・情報の発信力の強化 ・愛と夢あふれるまち ・人に優しいまち ・定期的に異業種やママさん達と集まり情報交換をする場が必要（行政発信ではなく、民間企業発信になるとかたくならず様々な意見がでるのではないかな） 	
2 班		
ビジョンの言語化	<p>何とかなるまち 何とかするまち</p>	<p>・"何とかするまち"には"誰かが何とかしてくれる"という受身な姿勢ではなく、自分達が当事者意識を持って率先して取り組むという想いを表現したものです。人の温かみや優しさがあふれ、お互い様の気持ちを持って、助け合えるまちこそが明るい豊かな社会になるのではないのでしょうか。</p> <p>・そんな大人達を増やすためには、〇〇をしなければならない、〇〇をすべきだという考えに追われるのではなく、〇〇をしたい、こういう風になりたい、つまり夢や希望について考えれる心の余裕が大切だと考えます。</p>
ビジョンの背景にあるループ図や繋がり、想い		
秋元	<ul style="list-style-type: none"> ・子供連れが当たり前の職場、コミュニティの場があれば（子育ても介護も） ・迷惑をかけていい ・認め合える ・お互い様のまち ・あたたかみ、人の優しさのあるまち ・居場所 ・助け合えるまち ・余裕のあるまち ・夢を語れるまち ・一歩踏み出せるまち ・背中をおせるまち 	
高橋	<ul style="list-style-type: none"> ・余裕のあるまち（子供、高齢者、働く世代⇒みんなが余裕のある状態） ・人に迷惑をかけてもいい町 ・人の心理的距離が近い ・心がひろい ・余裕がない⇒WHY：Have toに追われ、Want toが出来ない ・小さく始めても良いのではないかな、大きい必要はないのじゃないか ・情報のアクセスが悪い⇒一元化（負の遺産を子供世代に背負わせたくない） ①迷惑をかけていいまち ②認め合えるまち ③お互い様のまち ④あたたかみ人の優しさのあるまち ⑤居場所のあるまち ⑥助け合えるまち ⑦余裕のあるまち ⑧夢の語れるまち ⑨一歩踏み出せるまち ⑩背中を押してもらえまち ⑪背中を押し合えるまち ⑫何とかなるまち、何とかするまち 	
相本	<ul style="list-style-type: none"> ・迷惑かけていいまち ・認め合えるまち ・お互い様のまち ・あたたかみ、人の優しさのあるまち ・居場所のあるまち ・助け合えるまち ・余裕のあるまち ・夢の語れるまち ・一歩踏み出せるまち ・背中を押してもらえまち 	

3班

ビジョンの言語化	まちの文化を増やす ～既存のものも新しいものも～	<ul style="list-style-type: none"> ・目まぐるしく変化する現代において、ダイバーシティという言葉のように多様な人材が求められています。多様な価値観や考え方を学ぶには、多様な価値観や考え方を持つ方々がまちに来たり、まちの方と交流することが大切なのではないでしょうか。 ・そこで海外から来られる観光客の方、グローバルな人材がこのまちに来てもらうためにも、このまちの既存の文化を見つめなおし、また新しい文化の開発に取り組む必要があると考えます。
----------	-----------------------------	--

ビジョンの背景にあるループ図や繋がり、想い

堀之内	<ul style="list-style-type: none"> ・「多様な人材」「多様性教育」の多様というワードが広い ・まちの文化をスタート地点にする ・多様な人材を育てるために、グローバル人材が来るような（来たくなるような）まちの文化をつくる（広める） ・飯塚市総合体育館を利用した文化ができるかも ・「旧伊藤伝右衛門邸」「嘉穂劇場を利用したお菓子文化を広める」
大隈	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルな人材が必要 ・新しい文化を作りたい ・飯塚市総合体育館でバスケの県大会がある ・伊藤邸に毎年20万人が来ている
中村	<ul style="list-style-type: none"> ・若い多様な人材が必要なのか、、、これからの地域のため ・まちの文化を増やすグローバルな人材が必要と考えた ・多様性=寛容性

4班

ビジョンの言語化	若者と地域のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・このまちには年間3000～4000人の大学生が住んでいます。その大学生の大半が、この地域との繋がりが無い状態でこのまちを出て行ってしまいう現状があります。一人でもこの地域に残ったり、また地域の方と交流する事で、若者が持つ多様な価値観やトレンドをこのまちに残せるのではないのでしょうか。 ・そこで若者と地域のつながりを活発にすることにより、まちの食文化の活性化や、まちの雇用、まちの文化の活性化に繋がると考えました。
----------	------------	---

ビジョンの背景にあるループ図や繋がり、想い

堀之内	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生目線で考えると「交通インフラ」の整備をして欲しいという意見が出た ・食文化やまちの文化などがあっても、知らなければ（行けなければ）ないのと同じ ・前回、具体的なアイデア（企業との交流）を少しぼかしたら「若者と地域のつながり」となった
中村	<ul style="list-style-type: none"> ・交通インフラが整っていない⇒大学生が使える交通インフラがない ・若者と企業との交流が増えれば、雇用も増える ・雇用を増やすために若者と交流をしたい、、、交通インフラが整っていない、、、